

# 香美市の学校における 道徳教育の紹介

## 1 コロナ禍でも学びを継続 ICTを活用した授業づくり ～山田小学校～

山田小学校6年生が、校内でのオンライン授業で、3クラス同時に道徳の授業を行いました。



別室で授業を行います。タブレットの画面に向かい授業を行う先生と、黒板担当の先生で役割分担。



▲先生はタブレットを2台準備。1台は提示資料確認用、もう1台は子ども達の様子を見るために使います。

▲机の上には1人1台タブレットを置いてオンラインで参加し、道徳の教科書を開いて、授業がスタートします。



▲自分以外の友達の意見が画面上に示され、自分の考えを深めます。

提出

▲子ども達は、タブレットに自分の意見を書き込み、オンラインで友達と意見交換をします。

## 2 道徳参観日と香美市道徳教育推進教師の研修を合同開催 ～大柝中学校～

宮城教育大学の相澤秀夫名誉教授によるモデル授業と教職員研修

参観された保護者の声  
「毎年見に来ていますが、年々子ども達の意見が深くなってきていると思います」



▲授業後の研修は、大柝小・中学校の先生と香美市道徳教育推進教師が、一緒に研修を行いました。

▲当日は、物部地域学校協働本部の方々も参観してくださっていました。

▲子ども達への効果的な指導方法について、相澤先生から直接ご指導いただきました。

※道徳教育推進教師とは各校の道徳教育推進の中心的な役割を果たす教員のことです。

## 3 家庭や地域との連携を大切にした道徳教育 “家庭で取り組む高知の道徳”の活用推進

※参観日や長期休み中(夏休みなど)の活用を推進する等、各校が工夫した取組を行っています。



月に一度は子どもと一緒に、夢や希望、悩みなどを語り合ってみませんか。